

豊中市東丘公民分館 公民館だより

編集発行
東丘公民分館
分館長

広報担当委員
林 兵治郎
丸山 敏之
芝原 知子
田 畑 夏

発行部数
4,000部

年頭所感

東丘公民分館長 植木 克己

昨年四月、東丘公民分館長という大任を拝することとなりました。お引受けしました以上は、この重責を汚さぬよう最善の努力を致したいと思えます。皆様の御支援、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

さて、公民分館は、社会教育の中枢をなすものであり、その果すべき役割は、集まる・学ぶ・結ぶ・知ることだと言われています。その意味するところは、まず、これによって集合の場を提供し、豊かで健やかな人間形成という生涯教育のセンターとしての機能を果し、また、地域に住む人々の連帯をはかり、かつ、情報提供の場ともなる、ということなのです。同時に、その活動内容を、地域に周知せしめ、その住民の参加を願うことの必要性も、当然生ずるわけで、そこに本紙発行の意味もあります。十分な施設を持たぬ当分館としては、中々思うような事業展開ができませんが、幸い地域の諸活動に、深いご理解をいただいている牧井校長先生、八中丸山校長先生を始め、各方面にご活躍の役員方のご協力により、できる限りの努力を傾けている次第です。地域の皆様方には、今後とも一層のご協力、ご参加のほど、切にお願い致します。なお、公民分館活動に、ご意見、ご希望がありましたら、その地

区の役員迄申し出て下さい。よいご意見を、とり上げていきたいと思えます。

菊を育てて

東丘小学校長 牧井 至誠

五月に小菊の苗を十本いただきました。早速プールの横の草捨て場から腐葉土を掘りおこし、植木鉢をもらって植え玄関の石段に並べました。菊作りは難かしといときいていましたし、今まで作ったことも、作ってみようと思ったこともありませんでした。

二年生の子どもたちが去年の秋に植えておいたチューリップの球根がりっぱに咲きそろったり、それぞれの学級園のスイトピーや菜の花がいつせいに咲き出した学校の庭をみて私も土をさわってみたくなくなってきたのか、また年令？かも知れませんが、とにかく十鉢の小菊の世話がそれから始まったのです。

小菊は大菊より簡単だろうと思っていました。芽を摘んだり、小鉢から大鉢へ植え換えたり、腐葉土の中にいた大きなイモ虫をつまみ出したり、夏は陽ざしが強すぎるので半陽のあたるような場所へ移してやったり、水をからさないようにせせと育てました。ところが肥料としてやった油カスが多かったのか、根に近すぎたのか、ナマでやったため発酵して消化不良を

おこしたのか、同じように世話をしていたのに二本も枯れてしまいました。蕾をもつ頃になると黒いフンが地面にいっぱい落ちていて、これは大変とよく見ると大きな青虫が二匹もいて葉っぱや蕾を一晚のうちに食べています。育てるといふことはなかなか手のかかることです。

十月になってようやく花が開き始めました。赤や黄色の花がそれぞれ持ち味を発揮して咲き出しました。菊が菊の花を咲かせてくれました。十一月の中頃、PTAの見学会で川西市のフラワーセンターに行きました。嵯峨菊が大人の背ほど伸び優雅な花がいつぱいに垂れさがっていました。学校に帰って玄関に並べている私の作った嵯峨菊を見ると、せいぜい一メートルぐらゐの高さで根元から出ている枝の数も花の大きさも全然くらべものになっていません。いっしょうけんめい作ったつもりですが育て方によってこんなにも違うものかと思ひ知らされました。

育てるといふことはむずかしいことです。私に育てられたばかりに差をつけられてしまいました。来年はもっとよく勉強して、伸びる力をぞんぶんに伸ばすよう育てたいと思っています。



子供達にもっと広い遊び場を
この子らの将来のために

女性と将棋

日本将棋連盟棋士

五段 中尾 修

先日、将棋の日(十一月十七日)連盟に集まった棋士の間で次の様な話題が上がった。「最近女性の間でも(もちろん我々の親が子供の頃は安物にせよ将棋板と駒は家の中にあるが)将棋が少しづつ普及して来た様に思っていたが、かと思つて一般女性の中に迄はなかなか、はいり込めていっている様に思えないナー」と、つくづく思ったヨ。」と云い出した。と云

うのも数日前、彼の弟子でマアマア三段である大手メーカー社長がウイスキーグラスをかたむけながら「これ程腹の立つ事は最近ないんですヨ先生」と云い出した。古い棋友と将棋を指し帰宅した所、妻が「何か商売上の取引客と酒場で時間を過ごしたと云うならプラスにもなる事もあるワ。だけど仕事に全く関係のない方と夜遅く迄将棋を指し、神経をすりへらし、それが、一体何の役に立つの?」何の役に立つ?と云われればグーの根も出ず、タダ楽しいからダ、と云うしかしかたがない(丁度子供が、友達と時間を忘れ友情を深め帰った時の姿だ)彼の妻はゴルフ・テニス……と云った事をハイソサエティーなる趣味と見なし、碁・将棋たる物はソサエティーの趣味と見なしているのだそうだ。彼の妻は一般に云われる所の才媛だそうなのだが男に対する理解がなさすぎる。社長には社長らしく趣味が必要『今さら坂田三吉の真似などなさらないと』と云うらしきとは何ゾヤ。彼女の仕事をしている男、ならびに将棋に対する理解度の問題ナノダ。江戸時代の御城将棋は兵法として武士ならびに諸大名の妻子に学ばされた事などトーン御知りではなく、た

だ単に今日ある作家方の手によりおもしろおかしく色づけされた王将坂田三吉先生のイメージがすなわち将棋のイメージなのだ。元来、男と女の間には生理的、決定的な違いがある。

将棋本来の玉を詰ると云う事は女性にはにがてな事のように。最近では学校授業の一貫として将棋を採用している。頭の運動・理解力・記憶力を育てるのに大変役立つのだ。一般女性の中に将棋が入り込めていないなぞと愚痴るよりも、私はもっと広く女性・子供の中に将棋が普及される事に多いに力をつくしていきたいナーとつくづくA棋士の話聞きながら思う結果となった。

「敬老の集い」に参加して

中村 正子

「敬老の日」に先立つ九月十三日は、またとない秋晴れに恵まれ、恒例「敬老の集い」が東丘小学校体育館で、盛大に催されました。

豊中市長代理、実行委員長のご挨拶に続いて、小学生、中学生のグループをはじめ、ボーイスカウト、ガールスカウト、地域の同好会、またお年寄の有志の特別出演など、老いも若きも、ありとあらゆるメンバーによる総出演となり、大そう賑わいました。

それだけに、プログラムの進行には、いろいろと気も使い、苦心もいたしましたが、この日のお客さままである、お年寄の皆さま方が、三時間に及ぶ演芸に、最後まで一々熱心に拍手を送って下さいましたので、会話は、いちだんと盛り上り、おかげで楽しい雰囲気になりました。このように、この日一日を、お年寄共々、有意義に過ごさせていただいたことを、何よりも嬉しく思った次第です。これも公民館役員、実行委員会の方

々の献身的なご尽力と、早々会場へ駆けつけて下さった地域有志の皆さま方のご協力があったことと思えます。

ところで、「敬老の日」に止まらず、お年寄には優しい、いたわりの気持ちを持ち続け度いもの、人生体験豊かな、大先輩の教えに、耳を傾ける気持ちのゆとりを持ち度いものと思うことしきりでした。

お年寄の皆さんに、いつまでもお元気で、そして自信を持って後輩達を、これからもずっと教え導いて下さい——と願う気持ちで一杯です。

「敬老の日」に因んだ行事も、ひととおり終った或日、近所での買い物道すがら、或るお年寄に、思いがけず、声をかけていただきました。「あの時の司会の方でしよう?とても楽しい会でした」と。その後、何人かのお年寄から同じような言葉をいただいたのです。「集いの日」のことを、あれこれ思い浮べながら、何とかお役に立てたようだ、嬉しく思いました。

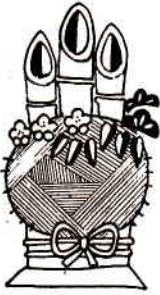


何とかしたい東町の池

深谷第一 杉村 泰男

理想郷として開発された千里、その命題の一つに緑の自然があります。我が東町もやがて十五年を迎へ、保存林を中心に造園植樹も馴染み自然をとり戻した様です。これら緑の中に、中央公園には安場池、東町公園には長谷池が開発前の名残を留めています。現在では一寸困った存在で、理想とかけ離れてしまった感があります。前者は高い金網の囲いが巡らされ立入禁止、後者は橋やベンチなど設置して利用の便を考へてあるにもかかわらず、一般人は寄り付かないところなのです。池は本来農耕の灌漑用溜池であったのが、現在耕地はなくなり、下水道の完備もあって、公園の景観に供されている丈で流れのない沼地化しています。又後者に到っては防犯上好ましくならぬ場所として問題視されて居ります。

そこで対策として、安場池は無用に近いと思われるので干上げて陽当りのよい球技可能な広場に、長谷池はもっと人目のとどく照明のある近道の工夫と流れや噴水などで浄化された水辺としてよみがえらせて欲しいものです。おこがましくも日頃思うことを申し述べご批判を受け、東町の環境をよりよくする様提案申し上げます。



公民分館行事に

子供を参加させて

塩屋 志津子

東町へ越してきたのは、五十四年八月です。長男五才、次男三才、三男二才の三人の腕白をかかえてる我家、どんなに3DKが、ひろく思えたことか……。でも、引越の用も一段落し、ふとまわりを見ると、幼い子の少ないことに気がきました。卒園まであと半年というところで移った長男を、来春入学ということもあって惜しむ気(入園金の点で)でアソカ幼稚園へ入園させました。その年の十一月に行なわれた「地区体育祭」へ鼓笛隊で出演することになり、はじめて、地区行事なるものがこのマンモス団地にもあることを知ったわけです。一番メインであった対抗リレーには、今だに見知らぬ地名があり、認識不足もいろいろと、毎年反省ばかりです。

子供達が一番喜ぶのは、なんといっても、出店の並ぶ類いのものではないでしょうか。我家では常に一回につき三個求めることになるので大人にとっては大変頭の痛いことではあります。それでもスピーカーから奏しげな盆踊りの曲が流れているのにも上の空で、顔中ベタベタにしながら食べる綿菓子の方が、子供にとってはすごい魅力なのでしょう。「お祭り」というのも、こんなことが想い出として残るのではないのでしょうか。

仮りの住まいとしてしか「団地」というところを見ない私ですが、子供にとっては、そんな事はおかまひなし。何か催し物があると、付き添いなどかまわずとんでいくところが、子供らしきカナ……とほほえ

ましく思っています。子供の後を追って、少しでも、今住んでいる町に、自らとけ込む努力をしなければと思っているこの頃の私です。

親子自転車の乗り方

講習会を終えて

東丘小P・T・A会長

玉木 貴代子

十月三十一日、防犯協議会との共催で、「自転車正しい乗り方講習会」を、一・二年生の児童・父兄を対象に開催致しました。当日は、豊中警察署の婦警さんの指導のもとに、自転車に乗る前の安全点検の仕方・横断歩道の渡り方・坂道での乗り方・歩道専用道路での乗り方など、ミニコースを作り実際に乗って練習をしました。

千里の子どもの特徴としては、常に車道と歩道の区別のある所で、自動車から保護された中で生活しているせいか、右側通行・左側通行の意味がよくわかっていないようです。「自転車は左側通行するんですよ」というと、「この道行ったら左側なの」と答がかえってくるように。今後こういう点を注意して各家庭でも指導していただけたらいいと思います。なお当日は、三好サイクルセンターのご好意で自転車の安全点検もあわせて致しましたが、ほとんどの自転車に注意個所がありました。日頃の安全点検も充分に行なって下さい。

東丘住区行事特集

盆 おどり

メゾン千里 丸山 敏之

八月二日の夕方、出張のフリをして事務所を抜け出し、一時間後には小学校のかき氷屋台に現われて、水かきやら蜜補給をしておりました。なにしろ人生初めての経験で無我無中でしたので、いつの間にか盆おどりが始まっていたのやら、誰が踊っていたのやら全く気がつきません。夜が更けるにつれて民謡の調子が高まり、かき氷の売れ行きもピッチを増してゆきました。

隣の風船吊り、提灯、ラムネ、焼鳥、綿菓子、缶ビール、金魚すくい、ガス風船、古本等の屋台もなかなか繁昌しているようです。ディスクの振りで河内音頭を踊っていたお嬢さんも素敵です。それにしても踊りの輪に子供衆が少ないのはどうしてでしょうか。屋台の買い歩きなどしないで、櫓を二重、三重に囲み踊りに入りたい。なにしろ町会の盆踊りですからね。

二日目は気温も高く、更に多くの人出です。屋台の奥様方も顔馴染みとなって、分業作業のコツも覚えかき氷の売れ行きも上々でした。ただ町会の行事に市会議員の挨拶は余計のようです。

東町盆踊りは、年々、ますます盛大になってきました。来年は夜店に代えて、皆が踊りに加わり、深谷連、あかしや連等、趣向を凝らせば、一層楽しくなるかもしれないと思います。

人出の消えた校庭で屋台、櫓を取り壊し、心地よい疲労を感じながら帰途についた次第です。

ぼんおどり

東丘小二年生 小田 のり子



八月二十二日と二十三日に、東丘小学校で、ぼんおどりがありました。いなかの、ぼんおどりも、みてきました。おどりの、わに、はいれませんでした。東丘小学校では、友だちが、たくさんいたので、おどったり、よみせで、かきごおりや、金魚すくいや、わたがしを買ったり、しました。いとも、きて、じゅんばんに、ならんで、おどりました。またらい年の、ぼんおどりを、楽しみにしています。

地区体育祭雑感

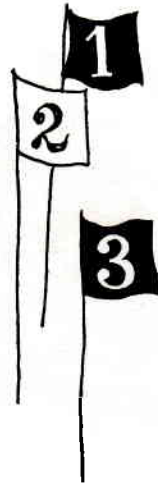
実行委員長 辻 弘美

第十三回地区体育祭は、9月20日の分館合同委員会に於いて、実行委員会の設置、実行委員数を決定し、各自治会、団体に委員の選任から始まり、体育祭開催日迄に、小委員会、実行委員会を数回開き、各部門役割の分担、競技種目内容検討、賞品購入、選別包装等、実行委員の方々の協力を得て準備を終了し、後は天候を気にかけて当日を迎えた訳です。当日は、天気予報が外れ絶好の日和となり、関係者一同ホッとしました。開会宣言で始まり、各競技も大きなトラブルもなく進行して行く中で、レースにより出場者不足による時間調整、又、出場者予定オーバーにより賞品の補充等、冷汗の出る場面もあった。

しかし、何と言っても圧巻は、対抗リレーであろう。対抗リレーが始まる頃になると観覧席の人垣が二重になる所もあった。予選のスタート時間が遅れたが、それでも、自分の住区の選手に大きな声援を送り終了すると歓声と溜息とが交差し、競技者と観客とが一体になる姿に改めて運動会を見た感じがした。特に今回は、総合優勝をなくしリレー三部門に優勝トロフィーを新しく設けた故、各住区共、熱が入って居た様に思う。又、ゼッケンは、その様式を統一し、紐で結び方法を取り入れ安全面に注意した。

人気種目の一つであるマラソンは、毎回ながら小学生の参加が多く、今回もスタート時には事故の起らない様に祈った程である。もう一工夫すべきだったと思う。進行表と時計をにらみながらの忙しい一日であったが、私個人に取っては貴重な体験をさせていただいた。

最後に、体育祭実行委員各位、ならびに、休日にもかかわらず終日ご協力下さいました小学校の先生方に、紙面をお借り致しまして厚く御礼申し上げます。



体育祭成績表

。地区対抗リレー (成人男女)

第一位 あかしや住宅

第二位 桜ヶ丘住宅

第三位 深谷第二住宅

。リレー (小学生男子・女子)

男子の部

一位 公団A・二位 深谷第三・三位 公団B

女子の部

一位 東町B・二位 公社・三位 公団B

。マラソン優勝者

A 高校生及び成人男子 (20才―30才)

奥村君 (高一) (B18―308)

B 中学生及び成人男子 (40才以上)

藤森さん (B9―110)

C 小学生男女及び成人女子

山本さん (東丘小五年) (C6―101)

ちくのうんどうかい

東丘小二年 木村 友美

10月18日、うんどう会がありました。すごく、お天気がよかったです。「ちく」のうんどう会に、わたしとおとうとと、お友だちのさっちゃんといっしょにいきました。いったら人がたくさんきていました。そしてわたしもはりました。四れつにならんではいりました。そして、いっしょうけんめいはしたら、いばんになりました。ノートとえんびをつもらったので、おあさんと、おとうさんにみせにいきました。「一とうになれて、よかったね」といわれてうれしかったです。そしてまた、つなひきにできました。わたしは赤組でした。赤組が2かいかちました。白組は、まけました。つなひきがおわると、もうわたしたちのやるようなものはありませんでした。もつともつと出たかったのになあと思いました。とっても楽しいちくのうんどう会でした。またしたいです。



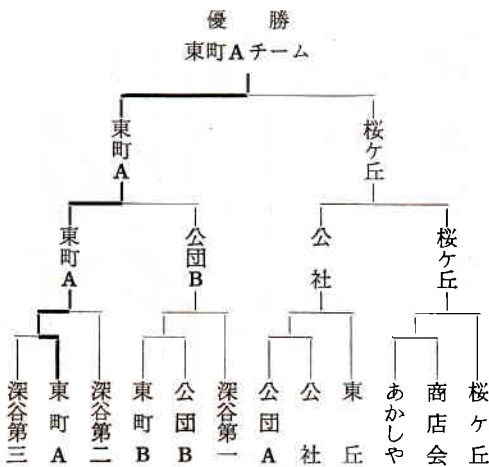
“女子ソフトボール

親睦試合”

東丘公民分館

今年度は、女子ソフト部より、女子のみのソフトボール試合をして欲しい要望がありましたので、東丘女子ソフトを中心に、三チームを編成し、十一月三日の「地区親善ソフトボール大会」と同じ日に、親睦試合を初めて行いました。来年度は、もっと多くの住区の婦人が参加され、盛大な「女子ソフトボール大会」に発展させたいと、考えております。

地区親善ソフトボール大会



パッチワークを習って

伊藤 恵子

「手づくり」をいろいろやってきましたが、一度やってみたくて思っていたのがパッチワークです。

でも、思ったよりむずかしく、奥深いものがあるので、つらい思いもしましたが、だんだん興味がわいてきました。

これも先生のよいご指導と、適切な題材を選んでいただいたお蔭と感謝しております。皆さんも参加されませんか。面白いですよ。



歩 こ う 会

十一月二十二日、朝九時三〇分に、東丘小学校正門前に集合し、万博公園に向って元氣よく出発しました。参加者も昨年にくらべ、多数参加して下さいました。途中何の事故もなく、万博公園に到着し、一休みのあと、パビリオンあとめぐり、かみひこうきをとばしたり、又、ふうせんあそびとか、バレーボールをしたりして、子供たちは、本当に楽しくあそびました。お蔭様で、つきそいの親達は大変疲れましたが、その疲れは爽やかなものでした。来年がもっと楽しみです。

- ▽ 社会教育目標へ
- ◎ 人権を尊重し明るい町をつくりましよう。
- ◎ 教養を高め豊かな心をつくりましよう。
- ◎ 力を合せて清潔で美しい町をつくりましよう。

編 集 後 記

東丘公民分館広報委員会

新年号をお届けします。広報委員が、二カ月かかって仕上げました。出来ばえについて、御意見をお寄せ下さい。

今年は、地区行事が色々行なわれ、原稿も比較的に集まり易かったようです。これからも、東町タウン紙として親しみのある記事を、満載していきたいと存じます。

今年度も数々の行事を、順調に消化し、あとは恒例の、「新春囲碁将棋大会」を、残すのみとなりました。これも住区の皆様の御協力の賜と、厚くお礼申し上げます。「新春囲碁将棋大会」には、奮って参加して下さい。

予定・五七年一月中